

地域学校協働本部

つなげよう

赤坂の

わ



赤坂アカデミー 地域コーディネーター便り

2020年度 第1号



●地域学校協働本部の活動とは

昨年2019年度より、赤坂小・赤坂中、中之町幼稚園では「地域学校協働本部」がスタートしました。この活動は、学校と地域が一体となって子どもたちの成長を支えていくものです。また教職員や地域の大人が子どもたちと向き合う時間を増やし、学校教育の更なる充実を図ります。その中で、地域コーディネーターは学校からのニーズを受け、活動に協力いただける方を探し、双方を繋げる役割です。その活動の一部をご紹介します。

あかさかちゅうがっこう

赤坂中学校

昨年度は1年に3回受験できる「実用英語技能検定試験」の学年、グレードごとに整理して日本英語検定協会に団体申込みの出願票を郵送しました。この検定試験は、年3回実施される国内最大規模の英語検定試験で英語科の先生方が、中学生のうちに意欲的に英語学習を深めるために受験をすることを推奨しています。赤坂中学校の生徒は検定試験の受験率が高く、上級のグレードにも続々と受かっています。これは個人で申込みこともできる検定試験ですが、英語科の先生方が日々の多忙な中、熱心に生徒のために受験の申込みを取りまとめてくださり、検定協会に受験の申請をしてくださったからだ、実際に検定の申込みに地域コーディネーターが関わることで初めてわかり、先生方の熱意を感じることができました。

●面接官のボランティア ●

高校入試対策として、経験豊富な地域の方に面接官のボランティアをお願いしました。数日間、面接会場を想定した場所を校内に設置し生徒一人ひとりと面接練習をしていただきました。面接官のボランティアの方には、社会人としての常識を教えていただきながら、高校受験の面接に自信を持って臨めるように、中学生の返答についての的確なアドバイスをいただきました。（地域コーディネーター糸数恒子）



2019年度は、活動がスタートした年にも関わらず
100名もの方々がボランティアにご参加下さいました。

保護者の皆様・地域の方々のご理解とご協力に感謝申し上げます。

2年目となる本年は、新型コロナウイルス感染症による長期休校の為、ようやくスタート地点に立ったところです。安心して活動に取り組めるように、3密を避け、検温やマスク着用等感染症予防に努めてまいります。



★港区地域コーディネーター研修へ参加

「三砂中の支援の会」(江東区立第三砂町中学校)の地域コーディネーターの講演及び活動見学へ参加しました。



三砂中の支援の会のコーディネーターの方々と

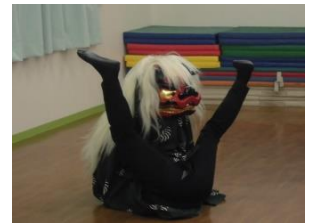
立ち上げのきっかけは「子どもに居場所を」との思いから十年の試行錯誤を経て、放課後の図書室開放、土曜日の数学補修教室、チャレンジ支援では検定(英検・漢検・数検)に向け学習支援、また現役の社会人から学ぶキャリア教育に「地域の応援団(地域の方や大学生)」がボランティアとして活躍されています。ボランティアに様々な世代の方が活動に関わり楽しまれている事が印象的でした。

地域コーディネーターの大先輩のお話は、大変参考になり、私たちも頑張っていきたいと思いました。(糸数・日比谷)

なかのちょうようちえん 中之町幼稚園

1月8日始業式の後、遊戯室に獅子舞が登場しました。ボランティアを受けてくださったのは赤坂支所まちづくり課の山本昇さん。神田囃子保存会で活動されており、10年程前に南青山保育園で獅子舞を披露したことをきっかけに、今では赤坂保育園・青南保育園でも毎年実施されています。

獅子舞の毛づくろいをする姿や満腹になって眠くなったり、鞠とじゃれてみたり、、最初は姿形を恐れていた園児もいましたが、動物らしい振舞いを見ているうちに愛くるしさを感じたようでした。獅子舞にはオスとメスがいる事、名前がある事など、山本さんの分かり易くて楽しい説明に園児達も興味をもっていました。最後に年長から一人ずつ、頭をパクパクと厄払いしてもらい、晴れやかな園児の表情が印象的でした。



感想には「いろいろな動きがあって楽しかった」「本物に触れられる機会があって良かった」「刺激を受けて空き箱で獅子舞を作っていた園児もいた」と好評でした。(地域コーディネーター日比谷信子)

あかさかしょうがっこう 赤坂小学校

新年明けての活動は、書初め展の展示ボランティアと2年生対象のお正月遊びのボランティアでした。展示ボランティアでは、保護者の方々がてきばきと動いてくださり、約500点近い子供たちの作品を2日間(1日12~13名で2時間~3時間)で展示作業を行いました。とても大変な作業でしたが、協力し合い、保護者同士の仲も深め合いながら、最終的には達成感を共に感じて、とてもよい時間になりました。



お正月遊びのボランティアでは、地域の男性方もボランティアで参加、コマ回し、けん玉、おはじき、凧上げ、かるた、お手玉など、昔懐かしい遊びを児童と一緒に楽しみました。

感想には「昨年迄は先生方が忙しい中、遅くまでかかって、一枚ずつ貼ってくださっていたのだと初めて知り、びっくりしました。改めて感謝致します。」「このような保護者が代われる作業に協力する事で、先生方が子供たちの指導により時間を割く事ができれば、互いにとってとてもよい結果になると思います。」(地域コーディネーター佐藤真紀子・日比谷信子)